



取締役頭取

# 大城勇夫

## GREETING ごあいさつ

皆さまには、平素より、琉球銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。  
今年も、多くの皆さまに琉球銀行をより一層理解していただくために、「琉球銀行の現状」(2008年版ディスクロージャー誌)を作成しました。

昨年度の国内経済は、輸出や設備投資といった企業部門がリード役となり全般として緩やかな回復を続けたものの、一方では、米国のサブプライムローン問題や原材料価格の上昇、改正建築基準法施行の住宅投資への影響など景気の下振れリスクが高まりました。

一方、県内経済は、観光関連で宿泊施設の新設が続いたほか、入域観光客数も沖縄ブームの継続や外国人客数の増加を背景に高水準を維持するなど好調に推移しました。一方、建設関連は改正建築基準法の影響などにより弱い動きとなったことから、景気は全体として足踏みとなりました。

当行は、平成20年度の経営目標に「成長戦略を支える収益体質の強化」を掲げ、住宅ローンを含む消費者ローンの推進、中小企業向けローンの増強、金融商品の販売、事業承継業務等新金融サービスの提供などリテールビジネスの強化を中心にして、質・量ともに充実を図りつつ、中期経営計画を推進していきます。

当行は、今年5月で創立60周年を迎えました。今後も、変化する金融環境やお客さまのニーズを踏まえ、自ら進化を続けながら、沖縄経済の発展に貢献できるリーディングバンクとしての役割を發揮していくとともに、「沖縄になくてはならない銀行」としてお客さまから高い信頼、支持をいただけるよう努めてまいります。

平成20年7月